

52

【52期】NPO法人ドットジェイピー 活動報告書

2023 October __ 2024 March

もくじ

●目次	P3
●団体概要	P4-5

【インターシップ事業】

●参加学生データ	P7
●学生意識調査	P8
●受入議員・機関・団体データ	P9
●受入議員・機関・団体一覧	P10-13
●協力大学一覧	P14

【未来事業】

●未来自治体2024	P17-21
●未来自治体	P22
●未来自治体リーダーシミュレーション	P23

【その他の事業・実績】

●書籍関連	P26
●メディア掲載実績	P27-28
●ご協賛企業一覧	P29

団体概要

団体概要

団体名称	特定非営利活動法人ドットジェイピー	創業	1998年2月14日
通常表記	NPO法人ドットジェイピー	法人設立	2000年11月22日
英文表記	Dot-jp,NonprofitOrganization		

所在地

本部	〒102-0082 東京都千代田区麹町2-10-2 プレミアムオフィス麹町304
エリア	●北海道エリア ●宮城エリア ●山形エリア ●福島エリア ●栃木エリア ●茨城エリア ●東京エリア ●神奈川エリア ●愛知エリア ●三重エリア ●新潟エリア ●福井エリア ●京都エリア ●大阪エリア ●兵庫エリア ●岡山エリア ●広島エリア ●香川エリア ●福岡エリア ●大分エリア ●長崎エリア ●熊本エリア ●宮崎エリア ●鹿児島エリア

事業内容

1. インターンシップ・コーディネート事業
2. 地域活性化に関する諸フォーラム・セミナーの開催
3. 広報事業

目的

- ・大学生を主とした不特定多数の人に、衆議院議員、参議院議員並びに地方公共団体の議会の議員及び長（以下「議員」という。）、特定非営利活動法人など各種団体、行政機関および駐日外国公館などの公的団体のもとでのインターンシップを通じて実務研修を行わせ、もって社会学習の機会を付与し、社会教育の推進を図ること。
- ・国民の社会に対する興味を喚起し、もって議員選挙の投票率の向上を図ること。

前記の目的を達成するため、以下の種類の特定非営利活動を行う。

1. 社会教育の推進を図る活動
2. 情報化社会の発展を図る活動

「私もできる」を、私達がつくる。

思い込みでも、勘違いでもいい。この国を、世の中を、もっとよくしたい、その気持ちと行動さえあれば、誰だって世界を変える立役者になれる。だから、ドットジェイピーはつくりたい。

各界のスペシャリストや仲間とつながることで、「私もできる」と思える、たくさんの瞬間を。

そして、あなたが世の中の課題を改善へと導く未来を。

期待してほしい、想像を超えていく自分に。

団体概要

代表者

佐藤 大吾(理事長)

役員

役員	理事 佐藤 大吾 (理事長) 理事 水谷 正美 (副理事長) 理事 村崎 浩史 理事 松永 英也 (事務局長兼任) 理事 木村 亮 監事 名和 道紀 (公認会計士・名和会計事務所)	山田 拓 佐藤 翔太 大川 真司 大竹 祐登 大井 健史 伏見 晃一 中山 智貴 儘田 秋水 大濱 暢祐 黒岩 大輝 前田 一帆 川原 功也 小山 智加 児玉 峻太郎 山野 裕 津端 莉那 林田 光生 佐多 陽花 小保方 ひまわり
事務局長	松永 英也	
事業局長	石原田 拓郎	
評議員	石田 芳弘 (至学館コミュニケーション研究所 客員教授) 後 房雄 (愛知大学地域政策学部 教授) 倉田 薫 (関西大倉学園 理事長) 河内山 哲朗 (一般社団法人 日本ユーザビリティ医療情報化推進協議会 代表理事) 竹下 譲 (自治体議会政策学会 会長) 橋本 大二郎 (テレビ番組キャスター) 穂坂 邦夫 (NPO法人地方自立政策研究所代表) 山内 直人 (大阪大学国際公共政策研究科教授)	キャビネット
特別顧問	与良 正男 (政治ジャーナリスト/毎日新聞専門編集委員)	
顧問	松野 豊 (一般社団法人障がい者ワークスタイル研究所 代表理事) 友田 景 (株式会社ビズデザイン大阪 代表取締役) 本田 勝裕 (キャリアソリューションズ) 吉山 勇樹 (株式会社ハイブリットコンサルティング 代表取締役CEO)	

学生スタッフ

北海道、宮城、山形、福島、茨城、東京、神奈川、愛知、三重、新潟、福井、関西、広島、香川、福岡、大分、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、16エリア合計で、約470名。

※()内は、2024年3月31日現在のものです。

ソーシャル・インターンシップ

●『明日を考える。自分を考える』 ～議員・首長インターンシップ

みんなにとって幸せな明日を。政治はそんな思いからできている。
そう、政治は特別なものではなく、すべて自分の明日につながっている。
それだけに、日々これからに思い巡らせる、議員たちの熱量を体感して得るものは大きい。
自分と社会とのつながりを身をもって知る。明日のことを人まかせにしない、
考えた先に、新しい行動や挑戦が生まれる。

●『問いかける、「世界ではどうか」。』 ～大使館・国際機関インターンシップ

その答えが、正解だとは限らない。「世界から見た日本」を意識したとき、
思いもしなかった答えにたどり着く。国が変われば、視点や価値も変わる。
だからこそ、世界の人々とのつながり、リアルに、各国の文化や社会にふれることで、
あらためて気づかされる日本がある。
「世界ではどうか」自問するたびに、目の前の可能性も、自分の視界も広がっていく。

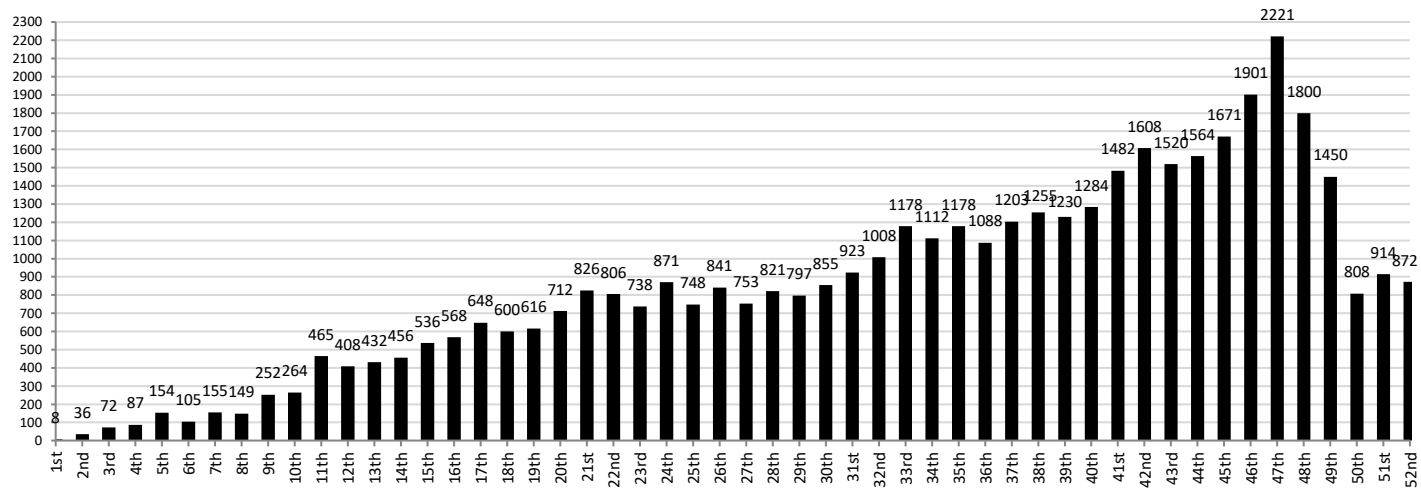
●『知ることから、世の中は動き出す。』 ～NPO・NGOインターンシップ

紛争、子どもの貧困、地域格差 ……なぜそれらの問題は起きるのか。
理解しようとすることから、社会を変える行動がはじまる。
NPOでの経験は、自分にだって、できることがあるという手応えをもたらし、
行動への背中を押す。
自分が動き出すことで、世の中は動き出す。

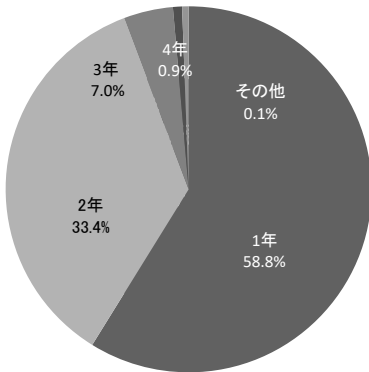
参加学生データ

第52期 参加学生数:872名

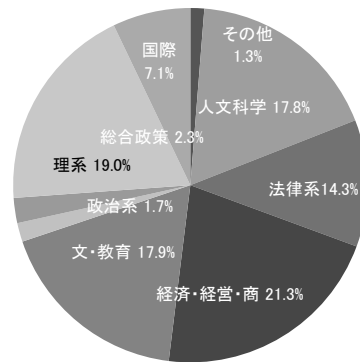
参加学生数推移



学年別参加割合



学部別参加割合



【累計】参加学生数上位大学 *()内の数字は、過去累計のインターンシップ参加者数

総合

立命館(1794) / 関西学院(1761) / 同志社(1653) / 東北学院(1275) / 慶應義塾(1218)
 明治(1208) / 熊本県立(1100) / 中央(1042) / 南山(1034) / 北海学園(908)
 早稲田(877) / 九州(847) / 筑波(830) / 関西(788) / 福島(757) / 山形(743)

エリア別

【北海道】 北海学園(916) / 北海道(400) / 小樽商科(180) / 北星学園(152)
 【東北】 東北学院(1242) / 福島(756) / 山形(737) / 東北(365) / 東北福祉(323)
 【関東】 慶應義塾(1156) / 明治(1131) / 中央(985) / 早稲田(833) / 筑波(766)
 【北陸】 新潟(46) / 金沢(16) / 福井(3)
 【東海】 南山(1008) / 三重(737) / 中京(423) / 名古屋(360)
 【関西】 立命館(1696) / 関西学院(1685) / 同志社(1596) / 関西(786)
 【中国四国】 広島(655) / 岡山(433) / 広島修道(284) / 香川(277)
 【九州】 熊本県立(1077) / 九州(817) / 西南学院(550) / 熊本学園(533)

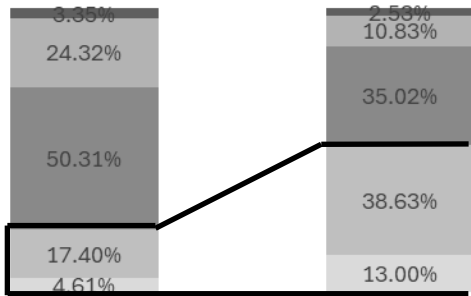
※総合の参加者数には複数支部でのインターン参加者も含むため、支部別の参加者数との間にずれがある場合がございます。

学生意識調査

政治に対するイメージ

インターンシップ参加前は、「良い」「どちらかといえば良い」の比率が22.01%だが、インターンシップ参加後は52.6%に。

※有効回答人数:754



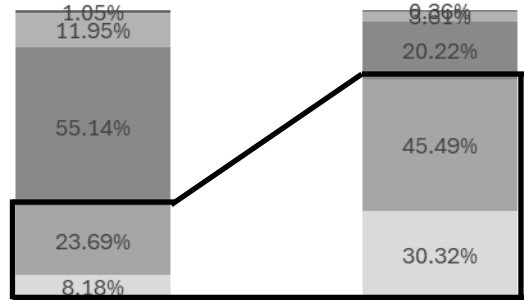
政治に対するイメージ(参加前)

政治に対するイメージ(参加後)

議員に対するイメージ

インターンシップ参加前は、「良い」「どちらかといえば良い」の比率が31.87%だが、インターンシップ参加後には75.81%に。

※有効回答人数:754



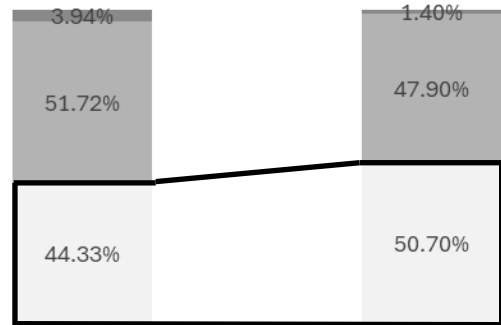
議員に対するイメージ(参加前)

議員に対するイメージ(参加後)

選挙に対する意識

インターンシップ参加前は「必ず選挙に行く」の比率が44.33%だが、インターンシップ後は50.70%に。インターンシップを通じて学生の選挙に対する意識が向上している。

※有効回答人数:812



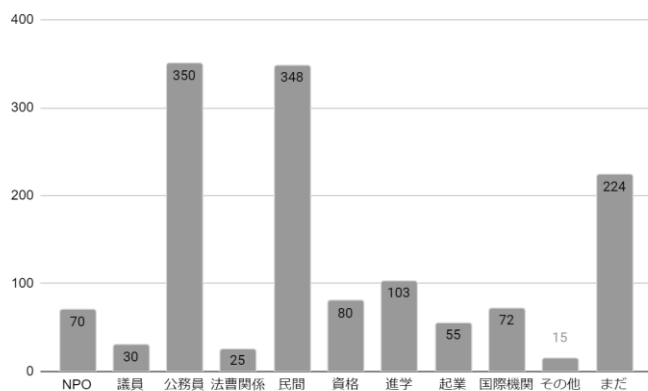
選挙に対する意識(参加前)

選挙に対する意識(参加後)

希望進路

- 1.NPO・NGO
- 2.議員
- 3.公務員
- 4.法曹関係(弁護士・検察官・裁判官)
- 5.民間企業勤務
- 6.資格業(医師・税理士など)
- 7.進学・研究者
- 8.起業
- 9.国際機関(国連など)勤務
- 10.その他
- 11.まだ考えられていない

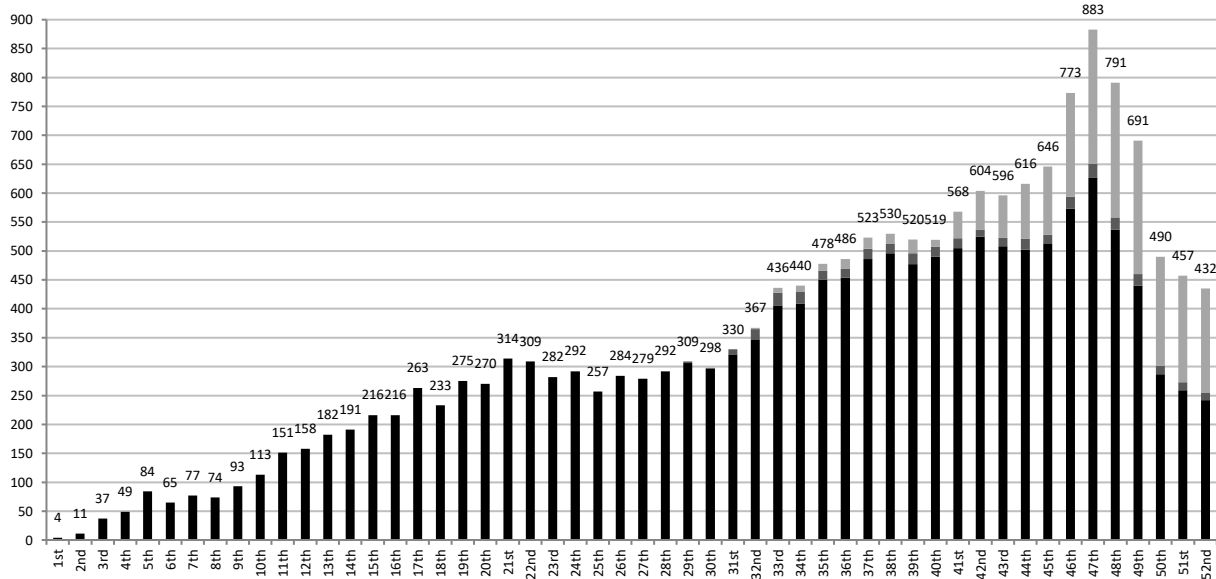
※有効回答人数:1372(複数回答)



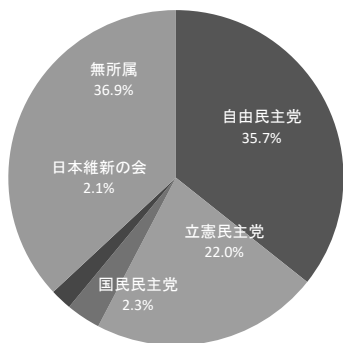
受入議員・機関・団体データ

第52期 受入議員・機関・団体数: 432クライアント

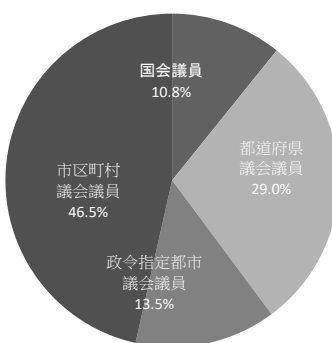
受入議員・機関・団体数推移



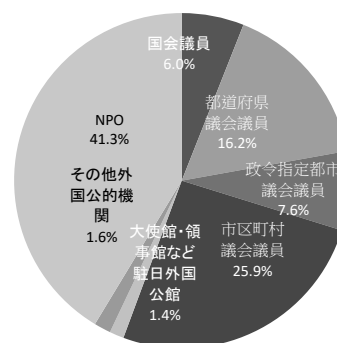
政党別受入議員数(当期)



区分別受入議員数(当期)



区分別全体受入数(当期)



首長インターンシッププログラム一覧

ドットジェイピーでは、議員インターンシッププログラムの運営で蓄積したノウハウを生かし、議員事務所だけでなく、知事や市長、地方自治体などの業務を理解するための体験プログラムを提供しております。

過去実施首長・自治体一覧(敬称略)

梶原拓(岐阜県知事) / 橋本大二郎(高知県知事) / 石田芳弘(愛知県犬山市長) / 佐護彰(愛知県日進市長) / 門川大作(京都府京都市長)
 倉田薫(大阪府池田市長) / 田中誠太(大阪府八尾市長) / 北口寛人(兵庫県明石市長) / 白井文(兵庫県尼崎市長)
 蕨本吉秀(兵庫県三木市長) / 河内山哲朗(山口県柳井市長) / 幸山政史(熊本県熊本市長) / 成澤廣修(東京都文京区長)
 山田宏(東京都杉並区長) / 井崎義治(千葉県流山市長) / 中村法道(長崎県知事) / 松崎秀樹(千葉県浦安市長)
 藤井浩人(岐阜県美濃加茂市長) / 小笠原春一(北海道登別市長) / 菅原章嗣(北海道喜茂別町長) / 熊谷俊人(千葉県千葉市長)
 小泉一成(千葉県成田市長) / 武廣勇平(佐賀県上峰町長) / 大石正行(北海道鶴居村長) / 徳永哲雄(北海道弟子屈町長)
 照井誉之介(北海道江差町長) / 宮谷内留雄(北海道蘭越町長) / 山本進(北海道東神楽町長) / 松岡市郎(北海道東川町長)
 谷之一(北海道下川町長) / 松岡隼人(熊本県人吉市長) / 秋葉就一(千葉県八千代市長) / 川上満(北海道平取町長)
 神達岳志(茨城県常総市長) / 崎田恭平(宮崎県日南市長) / 南出賢一(大阪府泉大津市長) / 越田謙治郎(兵庫県川西市長)
 佐藤弥斗(神奈川県座間市長) / 石丸伸二(広島県安芸高田市長) / 大野もとひろ(埼玉県知事) / 本村賢太郎(神奈川県相模原市長)
 樋口高顕(東京都千代田区長) / 永山由高(鹿児島県日置市長) / 上野俊市(鹿児島県さつま町)

※()内は受入当時のものです。

52期全国受入議員・機関・団体一覧 ①

※()内は受入当時のものです

北海道	都道府県議会	武田浩光(立憲民主党) / 鶴間秀典(無所属) / 淵上綾子(立憲民主党)
	政令指定都市議会	五十嵐徳美(自由民主党) / 恩村健太郎(立憲民主党) / 川田匡桐(自由民主党) / 北村光一郎(自由民主党) 篠田江里子(立憲民主党) / 三神英彦(自由民主党) / 村上裕子(立憲民主党) / 山田洋聡(自由民主党)
	市区町村議会	岡英彦(無所属) / 柏野大介(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会 特定非営利活動法人 さっぽろ自由学校「遊」 / 特定非営利活動法人 おーるまいてい 特定非営利活動法人 教育支援協会北海道 / 特定非営利活動法人 ezorock 特定非営利活動法人 手と手
宮城	国会	秋葉賢也(自由民主党)
	都道府県議会	阿部眞喜(無所属) / 柚木貴光(無所属)
	政令指定都市議会	貞宗けんじ(立憲民主党) / 鈴木すみえ(立憲民主党) / 内藤良介(自由民主党)
	市区町村議会	小玉仁志(無所属)
NPO団体	特定非営利活動法人 メディアージ / 特定非営利活動法人 まちづくりスポット仙台 特定非営利活動法人 COLLAWAKE / 特定非営利活動法人 MIYAGI子どもネットワーク 特定非営利活動法人 子育て応援団ゆうわ	
山形	都道府県議会	伊藤香織(自由民主党) / 遠藤和典(自由民主党) / 矢吹栄修(自由民主党)
	市区町村議会	秋葉晶子(自由民主党) / 荒井拓也(立憲民主党) / 小田賢嗣(無所属) / 影澤政夫(無所属) 鈴木悟司(自由民主党) / 高橋千夏(無所属) / 田中英子(自由民主党) / 鳥海隆太(無所属) 三宅和広(自由民主党) / 吉田創(無所属) / 渡邊賢一(立憲民主党)
	NPO団体	特定非営利活動法人 西沼田サポーターズ・ネットワーク / 特定非営利活動法人 一歩・一歩の会 特定非営利活動法人 ふれあいここにこの丘 / 特定非営利活動法人 支援センターなのはな畑 特定非営利活動法人 赤とんぼ / 特定非営利活動法人 学童保育所しゅぼん玉クラブ 特定非営利活動法人 から・ころセンター
福島	国会	亀岡偉民(自由民主党)
	都道府県議会	佐藤徹哉(自由民主党) / 佐藤義憲(自由民主党) / 先崎温容(自由民主党)
	市区町村議会	浅沼克人(無所属) / 浦野洋太郎(無所属) / 菅野喜明(無所属) / 小松良行(自由民主党) 坂本和広(無所属) / 佐藤眞也(無所属) / 佐藤宗太(無所属) / 宍戸一照(自由民主党) 鈴木博(立憲民主党) / 根本雅昭(自由民主党) / 村田芳三(自由民主党)
	NPO団体	特定非営利活動法人 ビーンズふくしま / 特定非営利活動法人 青空保育たけの子 特定非営利活動法人 すかがわ子育てネットワークTUNAGU / 特定非営利活動法人 VIDA 特定非営利活動法人 寺子屋方丈舎 会津 / 特定非営利活動法人 広野みかんクラブ 特定非営利活動法人 Lotus / 特定非営利活動法人 ハートフルハート未来を育む会 特定非営利活動法人 わくわく / 特定非営利活動法人 寺子屋方丈舎 郡山 特定非営利活動法人 宙(そら)の仲間たち
栃木	国会	藤岡隆雄(立憲民主党)
	都道府県議会	高山和典(自由民主党)
茨城	市区町村議会	内桶克之(無所属) / 須田浩和(無所属) / 萩谷慎一(立憲民主党) 森智世子(立憲民主党) / 綿引健(無所属)
	NPO団体	認定特定非営利活動法人 水戸子どもの劇場 特定非営利活動法人 フードバンク茨城 水戸支部 / 特定非営利活動法人 コミュニティNETひたち 特定非営利活動法人 セカンドリーグ茨城 / 特定非営利活動法人 雇用人材協会
新潟	政令指定都市議会	伊藤健太郎(自由民主党) / 内山航(自由民主党) / 小野照子(自由民主党) / 東村里恵子(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人 スペースBe 新大前店 / 特定非営利活動法人 身寄りなし問題研究会
福井	都道府県議会	山岸みつる(無所属)
	市区町村議会	林豊夏(無所属)

52期全国受入議員・機関・団体一覧 ②

※()内は受入当時のものです

東京	国会	城井崇(立憲民主党) / 源馬謙太郎(立憲民主党) / 末松義規(立憲民主党) / 鈴木庸介(立憲民主党) 辻清人(自由民主党) / 手塚仁雄(立憲民主党) / 長島昭久(自由民主党) / 長妻昭(立憲民主党) 萩生田光一(自由民主党) / 森田俊和(立憲民主党) / 山岸一生(立憲民主党)
	都道府県議会	小山くにひこ(無所属) / 鈴木烈(立憲民主党) / 関口健太郎(立憲民主党) / 成清梨沙子(無所属) 浜中のりかた(自由民主党) / 本橋弘隆(無所属) / 宮崎吾一(自由民主党)
	政令指定都市議会	井原隆(自由民主党)
	市区町村議会	青柳雅之(立憲民主党) / 赤江なつ(立憲民主党) / 有里真穂(自由民主党) / 石坂わたる(無所属) 岡田勇一郎(自由民主党) / 小幡健太郎(立憲民主党) / 門脇翔平(立憲民主党) / 金井ひろし(立憲民主党) 木目田英男(自由民主党) / 小林こうじ(自由民主党) / 佐藤琢磨(無所属) / 佐藤正幸(自由民主党) 鈴木綾子(立憲民主党) / 菌部誠弥(無所属) / 高橋まさこ(無所属) / 田中宏篤(自由民主党) 富田健嗣(立憲民主党) / 中村豪志(自由民主党) / 八田一彦(無所属) / 花澤昭信(無所属) 浜中吾郎(無所属) / 原田竜馬(立憲民主党) / ひえのたかゆき(無所属) / 松平雄一郎(自由民主党) 森沢美和子(立憲民主党) / 森本せいや(無所属)
	NPO団体 各国公的機関	コンゴ共和国大使館 / 在日イタリア商工会議所 / スペイン大使館 / チェコ政府観光局 モンゴル国商工会議所・日本 / ルーマニア政府観光局 / 在日ポーランド商工会議所 ウガンダ政府観光局 日本事務所 / エルサルバドル共和国日本国大使館 / コロンビア大使館 通商部 ベネズエラ・ポリバル共和国大使館 / 日本アゼルバイジャン商工会議所 / メキシコ合衆国大使館 公益財団法人 オイスカ / 認定特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンド 認定特定非営利活動法人 フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN 認定特定非営利活動法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 認定特定非営利活動法人 まちづくりスポット稲毛 認定特定非営利活動法人 エンバワメントかながわ 特定非営利活動法人 企業教育研究会 / 特定非営利活動法人 JFCネットワーク 特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム / 特定非営利活動法人 LOOB JAPAN 特定非営利活動法人 東京コミュニティスクール / 特定非営利活動法人 ジェンダー平等Labota 特定非営利活動法人 こどもの木 / 特定非営利活動法人 たねの会 / 特定非営利活動法人 CMC 特定非営利活動法人 オンザロード東京事務局 特定非営利活動法人 NICE(日本国際ワークキャンプセンター) 特定非営利活動法人 グッドネーパーズ・ジャパン / 特定非営利活動法人 ブリッジエーシアジャパン 特定非営利活動法人 リンクトゥミャンマー / 特定非営利活動法人 ICA文化事業協会
神奈川県	都道府県議会	大村悠(自由民主党) / 須田こうへい(立憲民主党) / 永田磨梨奈(自由民主党) / 榊晴太郎(自由民主党)
	政令指定都市議会	黒川勝(自由民主党)
愛知	国会	大西健介(立憲民主党) / 熊田裕通(自由民主党)
	都道府県議会	河合洋介(立憲民主党) / 黒田太郎(国民民主党) / 富田昭雄(国民民主党) / 福田喜夫(無所属)
	市区町村議会	白井えり子(無所属) / 藤田裕喜(自由民主党) / 舟橋よしえ(無所属) / 毛利尚義(日本維新の会) 森耕治(自由民主党) / 山田久美(無所属) / 和田直也(自由民主党)
	NPO団体	認定特定非営利活動法人 レスキューストックヤード / 特定非営利活動法人 こどもNPO 特定非営利活動法人 アスクネット / 特定非営利活動法人 ミライ
三重	市区町村議会	岩脇圭一(立憲民主党)
広島	国会	新谷正義(自由民主党)
	都道府県議会	伊藤英治(自由民主党) / 上野寛治(無所属) / 恵飛須圭二(自由民主党) / 柿本忠則(立憲民主党) 桑木良典(無所属) / 高田稔(無所属) / 鷹廣純(立憲民主党) / 福知基弘(無所属) / 村上栄二(無所属)
	政令指定都市議会	木村唯(自由民主党) / 丸山幸一郎(国民民主党)
	市区町村議会	今田佳男(無所属) / 岩崎和仁(無所属) / 喜田紘平(無所属) / 木村素子(無所属) 正田洋一(無所属) / 鈴木英士(無所属) / 鍋島勢理(無所属) / 村上真以(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人 これからの学びネットワーク / 特定非営利活動法人 アニマルセラピー協会 特定非営利活動法人 まちづくりコミュニティデザイン研究所 / 特定非営利活動法人 あいびい 特定非営利活動法人 環境パートナーひろしま / 特定非営利活動法人 尾道空き家再生プロジェクト 特定非営利活動法人 地域福祉活動支援協会人間大好き / 特定非営利活動法人 こどもステーション

52期全国受入議員・機関・団体一覧 ③

※()内は受入当時のものです

関西	国会	泉健太(立憲民主党) / 遠藤良太(日本維新の会) / 住吉寛紀(日本維新の会) / 森山浩行(立憲民主党)
	都道府県議会	駒井千代(無所属) / 齊藤真大(日本維新の会) / 中田英一(立憲民主党) / 西野弘一(無所属)
	政令指定都市議会	あわはら富夫(無所属) / 江村理紗(無所属) / 加地幸夫(立憲民主党) / 神谷修平(無所属) 西哲史(無所属) / 山田はじめ(無所属)
	市区町村議会	川村与志人(無所属) / 神原宏一郎(無所属) / 駒田かずみ(無所属) / 鷹野伸(無所属) 田中正剛(自由民主党) / 真鍋宗一郎(自由民主党)
	NPO団体	一般社団法人 フリンジシアターアンシエーション / 公益財団法人 大阪国際交流センター ヴィラ九条山 / 認定特定非営利活動法人 出発(たびだち)のなかまの会 認定特定非営利活動法人 FaSoLabo京都 / 認定特定非営利活動法人 くさつ未来プロジェクト 認定特定非営利活動法人 トッギャザー / 認定特定非営利活動法人 びわこ豊穡の郷 特定非営利活動法人 ゆに / 特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ 特定非営利活動法人 地域の家 / 特定非営利活動法人 明日の京都 文化遺産プラットフォーム 特定非営利活動法人 市民活動サークルえん / 特定非営利活動法人 アバンセ 特定非営利活動法人 気候ネットワーク 京都事務所 / 特定非営利活動法人 シンフォニー 特定非営利活動法人 奈良地域の学び推進機構 / 特定非営利活動法人 ひとつひとつ 特定非営利活動法人 ハーモニーきょうと / 特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議 特定非営利活動法人 地域環境デザイン研究所ecotone / 特定非営利活動法人 グラミーゴ奈良・三笠 特定非営利活動法人 アンダンテ農園 / 特定非営利活動法人 コンシューマーズ京都(京都消団連) 特定非営利活動法人 電線のない街づくり支援ネットワーク 大阪本部 / 特定非営利活動法人 学遊 特定非営利活動法人 green grass / 特定非営利活動法人 グッドネーバーズ・ジャパン 大阪事務所 特定非営利活動法人 こころのはな / 特定非営利活動法人 アフリカ児童教育基金の会ACEF 特定非営利活動法人 うた夢創の里 / 特定非営利活動法人 青少年自立援助センターブルーム 特定非営利活動法人 チャイルドドクター・ジャパン / 特定非営利活動法人 キャリア・サポートみらい 特定非営利活動法人 おひさまひろば / 特定非営利活動法人 チョウタリイの会 特定非営利活動法人 いごっそう / 特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク会議 特定非営利活動法人 YASUほほえみクラブ / 特定非営利活動法人 夢コネク 特定非営利活動法人 志塾フリースクールラシーナ / 特定非営利活動法人 Co.to.hana 特定非営利活動法人 Sports Kids Station / 特定非営利活動法人 Deep People 特定非営利活動法人 アスロン / 特定非営利活動法人 神戸西助け合いネットワーク 特定非営利活動法人 ぴよびよ会 / 特定非営利活動法人 北摂こども文化協会 特定非営利活動法人 レイパス 大阪南校 / 特定非営利活動法人 イー・ビーイング 特定非営利活動法人 バイオマス丹波篠山 / 特定非営利活動法人 みやっこサポート
	国会	柚木道義(立憲民主党)
	都道府県議会	植田真紀(無所属) / 高橋徹(国民民主党) / 山本悟史(国民民主党)
	政令指定都市議会	高橋雄大(無所属)
	市区町村議会	大西哲也(無所属) / 藤井昭佐(無所属) / 三好東曜(無所属) / 山口大輔(国民民主党) 若谷修治(自由民主党)
	NPO団体	公益財団法人 オイスカ 四国支部 / 認定特定非営利活動法人 さぬきっずコムシアター 特定非営利活動法人 アーキペラゴ / 特定非営利活動法人 だっぴ
福岡	国会	鬼木誠(自由民主党) / 城井崇(立憲民主党)
	都道府県議会	青木一功(自由民主党) / 吉村悠(自由民主党)
	政令指定都市議会	井上真吾(無所属) / 井上麻衣(立憲民主党) / 大久保無我(無所属) / 奥村直樹(無所属) 田中しんすけ(立憲民主党) / 戸町武弘(自由民主党)
	市区町村議会	安部芳英(無所属) / 稲葉高広(自由民主党) / 伊場勇(自由民主党) / 上野崇之(立憲民主党) 伊達正信(自由民主党)
	NPO団体	公益社団法人 スペシャルオリンピックス日本・福岡 特定非営利活動法人 国際教育支援機構スマイリーフラワーズ / 特定非営利活動法人 TOTOS北九州 特定非営利活動法人 あそびとまなび研究所 / 特定非営利活動法人 サンシャインフォーラム福岡 特定非営利活動法人 門司赤煉瓦倶楽部 / 特定非営利活動法人 下関子ども・子育てネット 特定非営利活動法人 シュタイナー&モンテッソーリー・アカデミー / 特定非営利活動法人 わくわく

52期全国受入議員・機関・団体一覧 ④

※()内は受入当時のものです

大分	都道府県議会	守永信幸(立憲民主党)
	市区町村議会	石田つよし(日本維新の会) / 宇都宮陽子(立憲民主党)
	NPO団体	特定非営利活動法人 おおいたNPOデザインセンター
長崎	国会	山本啓介(自由民主党)
	都道府県議会	浅田眞澄美(自由民主党) / 坂口慎一(自由民主党) / 千住良治(自由民主党) / 中村泰輔(国民民主党) / 山村健志(自由民主党)
	市区町村議会	青山昭広(無所属) / 柿田正(自由民主党) / 澤勢瑞城(自由民主党) / 平たけし(無所属) / 高橋佳子(無所属) / 都留康敏(無所属) / 中原ゆう子(無所属) / 村崎浩史(自由民主党) / 森きょうへい(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人 環境カウンセリング協会長崎 / 特定非営利活動法人 心澄 特定非営利活動法人 元気っ子クラブ ファイト / 特定非営利活動法人 ラポール諫早
熊本	都道府県議会	岩田智子(無所属) / 斎藤陽子(自由民主党) / 杉嶋ミカ(自由民主党) / 立山大二郎(自由民主党) / 南部隼平(自由民主党)
	政令指定都市議会	山中惣一郎(無所属)
	市区町村議会	今中真之助(無所属) / 澤田雄二(無所属) / ジェリフはづき(無所属) / 山本敬晃(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人 ハピネス / 特定非営利活動法人 NEXTEP / 特定非営利活動法人 えん 特定非営利活動法人 熊本福祉会 / 特定非営利活動法人 桜木ふれあいスポーツクラブ 特定非営利活動法人 RyuSun / 特定非営利活動法人 熊本マンガミュージアムプロジェクト 特定非営利活動法人 スポレク・エイト / 特定非営利活動法人 SDGs Association 熊本 特定非営利活動法人 でんでん虫の会 / 特定非営利活動法人 NCK 特定非営利活動法人 みらいけあ / 特定非営利活動法人 くまもと未来ネット 特定非営利活動法人 ひかるつめくさ / 特定非営利活動法人 子育て談話室 特定非営利活動法人 子育ての森 / 特定非営利活動法人 あやの里 特定非営利活動法人 NPOこどもサポート・みんなのおうち
宮崎	国会	渡辺創(立憲民主党)
	都道府県議会	川添博(自由民主党) / 齊藤了介(自由民主党) / 永山敏郎(立憲民主党) / 日高陽一(自由民主党) / 福田新一(自由民主党) / 本田利弘(自由民主党) / 丸山裕次郎(自由民主党) / 山内佳菜子(立憲民主党) / 山口俊樹(自由民主党) / 脇谷のりこ(無所属)
	市区町村議会	片平達也(自由民主党) / 河野克武(自由民主党) / 黒田奈々(立憲民主党) / 鈴木一成(無所属) / 徳重淳一(立憲民主党) / 中村鉄兵(自由民主党)
	NPO団体	一般財団法人 こゆ地域づくり推進機構 / 一般社団法人 宮崎県農業法人経営者協会 特定非営利活動法人 Swing-By
鹿児島	国会	宮路拓馬(自由民主党)
	都道府県議会	柴立鉄平(自由民主党) / 宝来良治(自由民主党) / 本田静(自由民主党)
	市区町村議会	犬伏浩幸(無所属) / 日置友幸(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人 チャトン / 特定非営利活動法人 ハッピー / 特定非営利活動法人 にじの橋 特定非営利活動法人 たけのこキッズ / 特定非営利活動法人 ともの会 / 特定非営利活動法人 ともいき 特定非営利活動法人 桜島ミュージアム / 特定非営利活動法人 地域サポートよしのねぎぼうず 特定非営利活動法人 きらきらの森 / 特定非営利活動法人 かごしま子どもと自然研究所 特定非営利活動法人 あまみ紬人 / 特定非営利活動法人 霧島ふるさと命の森をつくる会 特定非営利活動法人 あんじゅりあん / 特定非営利活動法人 鹿児島県有機農業協会 特定非営利活動法人 エコサポートTGAL / 特定非営利活動法人 どんぐり自然学校

協力大学一覧

議員インターンシップの普及促進のために、各地の大学にご協力をいただいております。

協力形態説明

- ・単位認定 認定に手続きについては、直接大学にお問い合わせください。
- ・告知 ビラ配布許可、ポスター掲示許可、授業での告知協力など。

【単位認定】

●北海道
北海学園大学
法学部
札幌学院大学
法学部
小樽商科大学

●関東
國學院大学
法学部 法律学科政治専攻

●関西
関西学院大学
法学部

●中国
広島大学
法学部

【告知協力】

●北海道
北海学園大学
法学部
小樽商科大学
北海学園大学
北海道大学

●東北
山形大学

●中国
広島大学
法学部
福山市立大学
都市経営学部



未来事業

『日本が終わってるなんて誰が決めた』

未来事業部は「未来自治体」と「未来国会」を運営しております。

「未来国会」は『もし自分が総理大臣だったら国家予算をどのように作るか』、

「未来自治体」は『もし自分が首長だったら自治体予算をどのように作るか』というテーマで、

時代を担う若者(主に大学生)が未来の国家や街のビジョンを掲げ、

それを政策・予算にまで落とし込み、

「若者らしい斬新かつ、現実性を備えた夢」をコンテスト形式で競い合う提案型プログラムです。

国家予算をあなたがつくる。

未来国会

若者による国家デザインコンテスト

地域の未来をあなたがつくる。

未来自治体

若者による自治体デザインコンテスト

jp
japan produce.

■開催概要

- ・催事名 : 未来自治体全国大会2024
- ・開催期間 : 2024年2月～3月
- ・エントリー : 30歳以下の若者900名/400チーム
- ・全国決勝大会は日経大手町セミナールーム2にて対面開催と同時にオンラインにて生配信(YouTube Liveにて配信)
- ・観覧/視聴者 : 観覧者約120名 決勝大会Live配信中約400名、アーカイブ動画約800名視聴

■全国決勝大会ゲスト(敬称略)



片山さつき氏

元国務大臣 自民党政調会長代理
自民党金融調査会長



高木まり氏

立憲民主党 参議院議員
「次の内閣」ネクスト厚生労働大臣



与良正男氏

政治ジャーナリスト
毎日新聞客員編集委員
NPO法人ドットジェイビー特別顧問



田幸大輔氏

政策分析ネットワーク事務局長
/政策メディア編集長

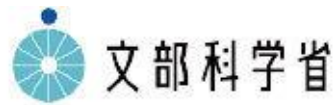
■後援



総務省



法務省



文部科学省



厚生労働省



農林水産省



経済産業省



環境省



こども家庭庁

■参加者情報

・参加者所属大学

東北学院大学・山形大学・福島大学・茨城大学・筑波大学・東洋大学・早稲田大学・東京大学
 明治大学・日本大学・専修大学・三重大学・中京大学・立命館大学・関西大学・関西学院大学・広島大学
 ・香川大学・九州大学・長崎県立大学・熊本県立大学・宮崎公立大学・鹿児島大学 など

■未来自治体全国大会2024 優勝【長崎大会選出 チームピースメーカー】プラン1-4

エリア	チーム名
長崎	ピースメーカー
<p>政策立案まとめ(目次)</p> <p>チームのビジョン・政策・予算まとめるシートです。 書くべき内容について、ノートに記載の注釈をご覧ください。</p>	
30年後の理想像	<p>新平和</p> <p>問題(課題と現状のギャップ)</p> <p>試合やライブがない日のスタジアムシティの集客 修学旅行生の探究学習が楽しくない</p> <p>平和学習に暗い印象がある 受け身の平和学習 平和の後継者不足</p> <p>クルーズ船の客を上手く利用できていない</p>
現状	
本年	<p>問題解決のための打ち手をおよびどのように実行するか(ロードマップ)</p> <p>問題①</p> <p>修学旅行生が探究学習でスタジアムシティを訪れるようになる</p> <p>問題②</p> <p>平和への入り口を「楽しい」にできる</p> <p>問題③</p> <p>クルーズ船のお客さんがスタジアムシティを訪れるようになる</p>
10年後	<p>スタジアムシティがいつでも人でにぎわうようになる</p> <p>平和の暗いイメージを払拭する</p> <p>長崎県民も集客交流するようになる</p>
20年後	<p>スタジアムシティが長崎のシンボリック的存在になる</p> <p>みんなが平和継承の担い手になる</p> <p>人種、性別、年齢、に関わらず交流できるようになる</p>
30年後	
重点政策①	<p>平和フェス</p> <p>施策の効果 平日もスタジアムがにぎわい、修学旅行生が探究学習を楽しむことができる</p> <p>予算 720万円年</p>
重点政策②	<p>デジタルで平和を楽しく</p> <p>施策の効果 平和へのイメージが明るいまになる 平和の後継者が増える</p> <p>予算 500万円年</p>
重点政策③	<p>スポーツで平和を広げよう</p> <p>施策の効果 クルーズ船のお客さんをスタジアムシティに呼び込むことができる</p> <p>予算 200万円年</p>

エリア	チーム名
長崎	ピースメーカー
<p>新平和</p> <p>参照:テキストブックP25-52</p>	
ビジョン	<p>30年後の街のビジョン(=最も見たい未来)を教えてください。</p> <p>長崎が中心となって全国に、そして世界に平和を発信している未来を実現したい。</p> <p>私たちが、「平和」と聞いて、ちょっと暗い気持ちになったり、少し身構えてしまったりするかも知れませんが、平和というものには、私たちの心や身近な所がたくさんある。</p> <p>長崎が、平和について発信し、たくさんの人が平和のことについて考えることによって、長崎だけでなく、世界中の人が幸福で満ち溢れた日々を送ることができる。</p> <p>平和と聞いて、ハッと頭に思い浮かべることが、戦争や空襲、原子爆弾のことでなく、毎日朝起きることができること(病気や月末期で次の日元気に起きることができない人もいるかもしれない)、毎日3食ご飯を食べることができること(貧困や前線に苦しんでいる人々もいる。仕事ができること(仕事がなく困っている人だって)、子どもがいる、赤ちゃんが元気に泣くこと。これらは、当たり前のことのようであるが、当たり前ではない。戦争が起これば、まずそのような日常はなくなってしまふ。ほかにも、自然災害でも家族が離れ離れになったり、ついさっきまで一緒にいた家族や友達が帰らぬ人になってしまうことだってあり得る。つまり、新平和というのは、1日1日が「当たり前」であり「当たり前」と感じることに對して感謝をし、平和を感じることである。</p> <p>道にそのような社会では、もし戦争が起こったらという考えがなくなる。そうすると、日本が他国から攻撃されるということを考える必要性はなくなるため、自衛隊が日々訓練をするうえで、訓練する項目が少なくなってしまうかもしれない。しかし、その場合、ボランティアや災害が起こった際のことにはフォーカスして、活動をしたり、訓練をしたりすることができる。</p> <p>つまり、もっと平和な世界を作り出すことができる。</p>

エリア	チーム名
長崎	ピースメーカー
<p>問題1 参照:テキストブックP53-68</p>	
<p>1. 30年後の理想の街を実現させるために、解決すべき問題と問題が発生する原因、根拠を記入して、問題を深掘りしましょう。 ※問題とは、「理想と現実の乖離」のことです。 理想を達成するために、今の日本が解決すべき問題を考えましょう。</p> <p>試合やライブがない日のスタジアムシティの集客 修学旅行生の探究学習が楽しくない</p>	
<p>2. 問題が発生している原因、およびその根拠を洗い出しましょう。</p> <p>【考えた背景】 長崎を訪れた修学旅行生に、ブレインストーミングやプレゼン発表を行ってもらった探究学習を提供する学生団体に所属しているが、生徒たちの中にはまったく参加しない人や、居眠りしている人がある</p> <p>【問題】 ・試合やライブがない日のスタジアムシティは来場者が激減すると考えられる ・リーグが開催しない時期は、サッカーコートとしてスタジアムを利用することができない ・スタジアムを試合で利用する機会が少ない ・修学旅行生がバスの中でお弁当を食べているという現状がある ・修学旅行生の平和学習は、スポットを巡るだけの受け身のものである ・修学旅行生の探究学習が楽しくない ・長崎に地形上平地が少なく街中に大きな駐車場がないため、お弁当を食べることができる広場がない</p> <p>【原因】 ・イベントがないときに、広大なスタジアムを生かしてさらに収益を得ることができる事業がない ・リーグは12月、1月の試合がない ・スタジアムシティがホームグラウンドであるVファーム長崎の昨年度のホーム試合数は19試合である ・修学旅行で行くことが定型化されている ・修学旅行での平和学習はインプットのみを重視し、アウトプットの機会がない</p> <p>【根拠】 実際に修学旅行生と関わりヒアリングを行った</p>	

エリア	チーム名
長崎	ピースメーカー
<p>問題2 参照:テキストブックP53-68</p>	
<p>1. 30年後の理想の街を実現させるために、解決すべき問題と問題が発生する原因、根拠を記入して、問題を深掘りしましょう。 ※問題とは、「理想と現実の乖離」のことです。 理想を達成するために、今の日本が解決すべき問題を考えましょう。</p> <p>平和学習に暗い印象がある、受け身の平和学習、平和の後継者不足</p>	
<p>2. 問題が発生している原因、およびその根拠を洗い出しましょう。</p> <p>【考えた背景】 ・みんな福岡出身で、小学校の時修学旅行で長崎を訪れ、平和公園や原爆資料館などをめぐって平和について学んだ。 →被爆者の方やガイドの方の話をただ聞くか被爆跡地をただ見ただけで終わった。 ・内容が重すぎて、友人と話す気にもならず、暗い思い気分でホテルに帰った。 ・事実を受け止めることも大事だが、せっかくなら楽しく学びたい!!! ・平和を原爆だけではなく日常の平和という視点で考えたい</p> <p>【問題】 ・平和学習に暗い印象がある ・受け身の平和学習 ・平和の後継者不足</p> <p>【原因】 ・平和学習に暗い印象がある ・長崎は平和は平和の悲愴さをリアルに伝える事に重点をおいている ・原爆資料館など平和を学ぶ施設が非常に暗い ・受け身の平和学習 ・体験などで感じるというよりは、聞くものが多い ・平和の後継者不足 ・一身体験された後継り世代があと10年ていなくなる言われている。 そのため、被爆の実相をどうやって伝えるかが平和行政の重要な課題となっている。 ・被爆体験を伝える「語り部」の育成も大きな課題である。 ・未来を担う若い世代に対する平和教育のあり方も過渡期を迎えている</p> <p>【根拠】 ・広島を平和公園を訪れて、違いを感じた ・平和についての活動を行っている方にお話を伺った</p>	

■未来自治体全国大会2024 優勝【長崎大会選出 チームピースメーカー】プラン2-4

エリア	チーム名
長崎	ピースメーカー
問題3 参照:テキストブックP63-68	
<p>1. 30年後の理想の街を実現させるために、解決すべき問題と問題が発生する原因、根拠を記入して、問題を深掘りしましょう。 ※問題とは、「理想と現実の乖離」のことです。 理想を達成するために、今の日本が解決すべき問題を考えましょう。</p> <p>インバウンドの客を上手く利用できていない</p> <p>2. 問題が発生している原因、およびその根拠を洗い出しましょう。</p>	
<p>【考えた背景】 長崎県文化観光国際部国際観光振興室の方にお話を伺って課題が見えてきた</p> <p>令和5年 長崎港に入港したクルーズ船は96隻。内95隻は外国隻。これは横浜に続いて全国2位である。また、訪れた人 20万人超にものぼるそうだ。しかし、現在の長崎はこのとても大きなバイを活用できていないとは言い難い。</p> <p>バス(40人想定)ツアー 平和公園 190本 (約7,600名) 原爆資料館 113本 (約4,520名) ※タダりもある</p> <p>バイキング・オリオン 2室(教授や研究者) 主に平和学習 被爆者の方をお招きして学ぶ</p> <p>米国 11月 約3,400名 が宿泊</p>	
<p>【問題】 せっかく長崎にクルーズ船が来ているのに、クルーズ船からの観光客から上手く収益を得ることができていない</p> <p>【原因】 クルーズ船にのる観光客は時間に追われているにもかかわらず、短時間で楽しめる施設がない</p> <p>【根拠】 長崎県文化観光国際部国際観光振興室の方に直接伺った。</p>	

エリア	チーム名
長崎	ピースメーカー
打ち手1 参照:テキストブックP69-80	
<p>認知拡大(啓蒙活動)・支援活動・根治予防の 3つの視点で、問題①(P4)の解決のために、何をすべきか書きましょう。(すべての視点を考える必要はありませんが、できるだけ多面的に考えましょう。)</p> <p>問題①: 平日のスタジアムシティをどう活用するか</p>	
<p>認知拡大(啓蒙活動): 問題が世の中で認知され、より軽減されるように働きかける取り組み</p> <p>支援活動: 起きている問題に対して対処するため、企業や個人が行う事業や取り組み</p> <p>根治予防: 問題が発生する原因を根本的に取り除く取り組み、また問題が起きないようにあらかじめ予防をするような取り組み。</p>	
<p>認知拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光連盟や大手旅行代理店と協力し、新たな修学旅行のパッケージを長崎に修学旅行で訪れる学校に案内してもらう テレビ番組や雑誌、新聞などで報道してもらう 	
<p>支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> スタジアムシティを修学旅行に訪れる学校に貸し出す 電光掲示板、プロジェクションマッピングの設置 新たな修学旅行パッケージの取組 	
<p>根治予防</p> <ul style="list-style-type: none"> アウトプット重視の修学旅行の周知 定期的に開催することで安定して収益を得る 	

エリア	チーム名
長崎	ピースメーカー
打ち手2 参照:テキストブックP69-80	
<p>認知拡大(啓蒙活動)・支援活動・根治予防の 3つの視点で、問題②(P4)の解決のために、何をすべきか書きましょう。(すべての視点を考える必要はありませんが、できるだけ多面的に考えましょう。)</p> <p>問題②: 平和学習に暗い印象がある、受け身の平和学習、平和の後継者不足</p>	
<p>認知拡大(啓蒙活動): 問題が世の中で認知され、より軽減されるように働きかける取り組み</p> <p>支援活動: 起きている問題に対して対処するため、企業や個人が行う事業や取り組み</p> <p>根治予防: 問題が発生する原因を根本的に取り除く取り組み、また問題が起きないようにあらかじめ予防をするような取り組み。</p>	
<p>認知拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSで発信を行う 	
<p>支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常の平和を感じ、自分を発信することのできる場の提供 デジタル技術を用いた新感覚の体験型平和学習の提供 	
<p>根治予防</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験型平和学習の周知 未来へつなぐ新しい平和のあり方の浸透 	

エリア	チーム名
長崎	ピースメーカー
打ち手3 参照:テキストブックP69-80	
<p>認知拡大(啓蒙活動)・支援活動・根治予防の 3つの視点で、問題③(P4)の解決のために、何をすべきか書きましょう。(すべての視点を考える必要はありませんが、できるだけ多面的に考えましょう。)</p> <p>問題③: インバウンドの客を上手く利用できていない</p>	
<p>認知拡大(啓蒙活動): 問題が世の中で認知され、より軽減されるように働きかける取り組み</p> <p>支援活動: 起きている問題に対して対処するため、企業や個人が行う事業や取り組み</p> <p>根治予防: 問題が発生する原因を根本的に取り除く取り組み、また問題が起きないようにあらかじめ予防をするような取り組み。</p>	
<p>認知拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種メディアでの広報 クルーズ船での広告 大学でのサークル化 長崎を広告してくれる人となつがる クルーズ船の会社にいろいろなおツアーがあることを営業する 	
<p>支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> クルーズ船客の大部分を占めるアメリカで流行っているスポーツができる場所を提供 観光地に詳しい人がボランティアでインバウンドの人にガイドする 若者でなにか新しい事業をしようと思っている人などの背中を背すような取り組みをする 観光に関わることで頑張っている人が資金を借りやすいような仕組みを作る 	
<p>根治予防</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語表記のものに英語表記を付け加える 視覚的にわかるような案内や表示を観光地を中心に立てていく。 	

■未来自治体全国大会2024 優勝【長崎大会選出 チームピースメーカー】プラン3-4

エリア	チーム名
長崎	ピースメーカー
重点政策1 参照:テキストブックF81-96	
平和フェス	
P7-9で考えた認知拡大・支援活動・根治予防の解決策(打ち手)より、政策にできるものをさらに深め、政策に発展させましょう。	
<p>【目的】イベントが開催されない日のスタジアムを有効活用し、収益を上げることができないか。修学旅行生が体験するスタディツアーや探究学習を楽しむことはできないか。</p> <p>【対象】長崎を訪れる修学旅行生</p> <p>【主体】旅行代理店、リジョナルクリエイション</p> <p>【期間】修学旅行生が訪れることが多い秋～冬にかけて(依頼があればいつでも開催可能)</p> <p>【政策内容】平和フェスめし。昼にスタジアムに集まり、みんなで昼食を食べる。知らない学生との仲を深めることができる。また、これは長崎に地形上平地が少ないため、旅行生がバスの中で弁当を食べることがあるという問題の改善策にもなる。スライド制作:生徒たちが撮影した写真を用いて、修学旅行中に学んだことに関するパワーポイントを作成してもらい、長崎での思い出を振り返ってもらえることができる。プレゼン大会:広大なスタジアムやアリーナでプレゼンを行う。スカイランタン:平和のメッセージをランタンに記入してもらい、空に飛ばす。夜までスタジアムにいてもらうことで、スタジアムに併設されたホテルへの宿泊を促すこともできる</p> <p>【懸念点】雨天時にスカイランタンをどこで飛ばすか</p> <p>【対策】屋根付きのアリーナで飛ばす</p>	
社会的インパクト(政策の効果)	
<p>政策を実施することによる効果(社会的インパクト)を書きましよう。今から10年後の政策実施からどのように社会が変わっていくのか(変革仮説)書きましよう。</p> <p>例)政策によって、誰の生活がどのように変わる(フィールド・ラーニング授業の実施-自然保護の重要性を理解する-自然を守りたいという意識)</p> <p>・修学旅行生がスタジアムで楽しい思い出を作り、また、旅行中の思い出を振り返ることで、長崎に来てよかった、と長崎に対して良いイメージを持つことができる</p> <p>・他校・他県の生徒との交流により、平和の輪を広げることができる</p> <p>・スタジアムシティが試合やライブがない平日も利益を得ることができる</p> <p>→スタジアムシティがいつでも人であふれない長崎のシンボリックな存在になる。</p>	

エリア	チーム名
長崎	ピースメーカー
重点政策2 参照:テキストブックF81-96	
デジタルで平和を楽しく	
P7-9で考えた認知拡大・支援活動・根治予防の解決策(打ち手)より、政策にできるものをさらに深め、政策に発展させましょう。	
<p>【目的】楽しく平和を学ぶことはできないのか 日常の平和を体感することはできないのか 平和の輪を広げる 被爆の真相を伝える 新しい平和学習のあり方を提案する</p> <p>【対象】長崎に住む子ども、修学旅行生</p> <p>【主体】リジョナルクリエイション</p> <p>【期間】試合がないとき(常時)</p> <p>【政策内容】アートで平和を感じよう:プロジェクションマッピング 従来のものに加え、お客さんにハートやメッセージを描いてもらい、映す →平和への思いが人から人へとつながる IT技術で被爆体験:VRを用いた新感覚の体験型平和学習 スタジアム内を歩きながら原爆投下前後の長崎の様子を体感してもらい、被爆の真相を学んでもらう</p> <p>【懸念点】VRを体験しているときの衝突</p> <p>【対策】スタッフを配置して未然に防ぐ</p>	
社会的インパクト(政策の効果)	
<p>政策を実施することによる効果(社会的インパクト)を書きましよう。今から10年後の政策実施からどのように社会が変わっていくのか(変革仮説)書きましよう。</p> <p>例)政策によって、誰の生活がどのように変わる(フィールド・ラーニング授業の実施-自然保護の重要性を理解する-自然を守りたいという意識)</p> <p>平和への入り口が「楽しい!」変わると、もっと学びたい、伝えたいという若者が増える →みんなで平和を伝えていこうという世の中になる、後継者不足の課題が解決する</p> <p>楽しんで子どもを見るとみんな平和な気持ちになる(日常の平和)</p> <p>→平和へのイメージが明るいのにもなる</p>	

エリア	チーム名
長崎	ピースメーカー
重点政策3 参照:テキストブックF81-96	
スポーツで平和の輪を広げよう	
P7-9で考えた認知拡大・支援活動・根治予防の解決策(打ち手)より、政策にできるものをさらに深め、政策に発展させましょう。	
<p>【目的】スポーツを通して平和を感じてもらうことを身近にする 観光客を対象に収益を上げること 長崎をスポーツで盛り上げること 国際化、中心地化</p> <p>【対象】クルーズ船の乗客、インバウンド、長崎に住む人たち、</p> <p>【主体】リジョナルクリエイション、JHPA、PA</p> <p>【期間】サッカーの試合がない時(常時)</p> <p>【制作内容】簡単に行うことができるゲームやスポーツをスタジアム内で実施し、県民や観光客間でコミュニケーションの場を作る。自分が楽しむこと、相手と楽しむこと、相手を理解し協力することが平和につながるのだと理解してもらおう。</p> <p>【懸念点】ピックルボールの認知度 ピックルボールにハマりすぎることによる怪我</p> <p>【対策】SNS、長崎大学でサークルで活動、地域でクラブ活動 ピックルボールのプレイ頻度に関する注意事項プレイヤーに伝えておく。一購入品に前向きなメッセージで伝えるようにするなど</p>	
社会的インパクト(政策の効果)	
<p>政策を実施することによる効果(社会的インパクト)を書きましよう。今から10年後の政策実施からどのように社会が変わっていくのか(変革仮説)書きましよう。</p> <p>例)政策によって、誰の生活がどのように変わる(フィールド・ラーニング授業の実施-自然保護の重要性を理解する-自然を守りたいという意識)</p> <p>ピックルボールは、包括的で健康的なスポーツとして、さまざまな社会的影響を持っていて、このスポーツは、すべての年齢層とスキルレベルの人々にアクセスしやすく、身体的な健康や健全なメンタルの維持を促進する。また、ピックルボールはコミュニティを結びつけ、友情やつながりを育み、地域経済にも貢献できる。さらに、若者や高齢者を含む様々な人々に適応し、教育や娯楽活動の場としても活用されている。その結果、10年後にそれまでのデータをもとにピックルボールがさらに評価され、ピックルボールは健康、社会、経済の面でポジティブな影響を与える多様な活動として注目されることをさらに促進することになるだろう。</p>	

エリア	チーム名			
長崎	ピースメーカー			
ロードマップ 参照:テキストブックF69-80				
ロードマップは問題解決までの道筋を示したものです。P7-9で考えた出した問題への解決策を、実施すべき順番、実施できるタイミングに沿って時系列に並べてみましょう。また各打ち手を実施して、10-20-30年後にどのような社会を目指したいか書きましよう。				
	問題1	問題2	問題3	各時期の目標
現在	イベントがない日のスタジアムシティを活用できない 修学旅行生の探究学習が楽しくない	平和学習に強い印象がある 受け身の平和学習 平和の被爆者不足	クルーズ船のお客さんがスタジアムシティを訪れるようにならない	スタジアムシティでActionを行うための整備を行う
10年後	修学旅行生が長崎に良いイメージを持つ	平和への入り口が「楽しい」になる	クルーズ船のお客さんがスタジアムシティを訪れるようになる	スタジアムシティに多くの人が訪れる
20年後	スタジアムシティがいつでも人であふれる	平和の嬉しいイメージが広がる	長崎県民もスタジアムシティに良いイメージをもつようになる	多くの人がスタジアムシティで楽しく平和を実感する
30年後	スタジアムシティが長崎のシンボリックな存在になる	みんなが平和意識の強い人になる	人種、性別、年齢、に問わず交流できるようになる	スタジアムシティから世界中に平和が広がる
★最も見たい未来の実現★				

■未来自治体全国大会2024 優勝【長崎大会選出 チームピースメーカー】プラン4-4

エリア		チーム名
長崎		ピースメーカー
<p>予算</p> <p>※新しい税金を作る、クラウドファンディングなど、歳入の増加案は禁止です。(参照:テキストブック06-115)</p>		
<p>重点政策1:2億1,600億円(30年間の政策にかかる費用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和フェス:30万円/月(芝生の清掃) ・プレゼン:10万円/月(雑費) ・スカイランタン:20万円/月(ランタンは再利用するため安価) ・上記費用負担 行政:ジャハネットホールディングス=9:1とする 		
<p>重点政策2:1億3,000万円(30年間の政策にかかる費用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクションマッピング:100万円/更新(年4回コンテンツ更新) ・VR:100万円/更新(3年に1回コンテンツ更新) ・プロジェクションマッピング、VR設備については既に準備を進めているとのこと ・上記費用負担 行政:ジャハネットホールディングス=9:1とする 		
<p>重点政策3:0.6億円(30年間の政策にかかる費用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピックルボール:200万円/年(道具管理費用) ・上記費用負担 行政:ジャハネットホールディングス=9:1とする 		
<p>重点政策3つの総予算:4億600万円(30年間の政策にかかる費用)</p>		
変更する歳出項目	いくら変更するか	変更する方法
観光振興関連事業予算 (文化観光国際部予算)	4億円600万円増	観光振興に寄与する事業であるため、企業活動が活性化し、法人税をはじめ企業活動による税収が期待できる。経済効果に対する県税収入を厳しめの3%として計算し、不足分が4億円程度になるが、30年間の経済効果が33億円程度となるため、本関連事業予算の増額は十分に現実的であると考ええる。

エリア		チーム名
長崎		ピースメーカー
<p>予算による影響と対応</p>		<p>参照:テキストブックF96-115</p>
<p>予算変更によって起こる悪影響 (誰がどのような不利益を被るか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金を得れない他の県内事業者 ・他の宿泊事業者 		
<p>悪影響への対処策 (不利益を被る個人・世帯・団体・法人への対応策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の環境客数増加により県内の事業者にも大きな経済効果があるため、歓迎される施策である。 ・宿泊事業者にとっては競合となり得るが、今あるバイを増加させる施策であるため、他の宿泊事業者にとっての影響は限定的だと考える。また、昼スタジアムシティを訪れて、他の宿泊施設に宿泊する観光客も増加するため、本施策は他の宿泊施設への動線となり得る。 		

14都市、計24回開催

	参加自治体	開催期間	参加者
未来流山市2012	千葉県 流山市	2012年4月7日 ～4月22日	50名
未来奈良市2012	奈良県 奈良市	2012年8月26日 ～11月18日	45名
未来鎌倉市2012	神奈川県 鎌倉市	2012年11月3日 ～12月15日	63名
未来仙台市2012	宮城県 仙台市	2012年11月11日 ～12月16日	40名
未来仙台市2013	宮城県 仙台市	2013年6月2日 ～7月14日	46名
未来仙台市2014	宮城県 仙台市	2013年7月19日 ～終了未定	40名
未来松坂市2013	三重県 松坂市	2013年10月12日 ～12月15日	49名
未来松阪市2014	三重県 松阪市	2014年8月9日 ～10月12日	47名
未来茅ヶ崎市2014	神奈川県 茅ヶ崎市	2014年7月12日 ～8月31日	42名
未来松坂市2015	三重県 松坂市	2015年10月10日 ～12月19日	45名
未来茅ヶ崎市2015	神奈川県 茅ヶ崎市	2015年12月13日 ～2016年3月5日	49名
未来氷見市2015	富山県 氷見市	2016年1月16日 ～2016年3月21日	44名
未来石巻市2016	宮城県 石巻市	2016年7月23日 ～2016年9月25日	32名
未来泉佐野市2017	大阪府 泉佐野市	2017年2月7日 ～2017年3月27日	26名
未来石巻市2017	宮城県 石巻市	2017年7月22日 ～10月29日	80名
未来高松市2017	香川県 高松市	2017年8月20日 ～11月5日	41名
未来茅ヶ崎市2017	神奈川県 茅ヶ崎市	2017年9月10日 ～11月12日	46名
未来湖南市2017	滋賀県 湖南市	2017年9月17日 ～11月19日	42名
未来茅ヶ崎市2018	神奈川県 茅ヶ崎市	2018年9月8日 ～11月11日	34名
未来茨木市2018	大阪府 茨木市	2018年9月24日 ～11月25日	31名
未来木更津市2019	千葉県 木更津市	2019年7月7日 ～9月28日	53名
未来浜松市2019	静岡県 浜松市	2019年8月3日 ～10月5日	51名
未来甲賀市2022	滋賀県 甲賀市	2022年9月14日 ～11月19日	51名
未来甲賀市2023	滋賀県 甲賀市	2023年8月5日 ～10月14日	17名

自治体リーダーシミュレーション

8都市、計8回開催

	参加自治体	開催期間	参加者	大会の様子
習志野市 自治体リーダー シミュレーション	千葉県 習志野市	2013年 3月30日	23名	
笠間市 自治体リーダー シミュレーション	茨城県 笠間市	2013年 8月17日	23名	
鎌倉市 自治体リーダー シミュレーション	神奈川県 鎌倉市	2013年 9月22日	21名	
稲城市 自治体リーダー シミュレーション	東京都 稲城市	2013年 9月27日	25名 (自治体職員のみ)	
上越市 自治体リーダー シミュレーション	新潟県 上越市	2013年 12月8日	28名	
成田市 自治体リーダー シミュレーション	千葉県 成田市	2013年 3月30日	20名	
浦安市 自治体リーダー シミュレーション	千葉県 浦安市	2013年 10月5日	20名	
富山県 自治体リーダー シミュレーション	富山県	2015年 3月1日	48名	

その他の事業・実績など

書籍関連

【市議会議員になる方法】

著者:佐藤大吾
協力:NPO法人ドットジェイピー
発行:ダイヤモンド社

地方議員は職業のひとつ。
選挙は就職活動だ！
社会企業化を目指す人、地元をよくしたい人、
『議員』という選択肢だってある！

地域から日本を変える仕事に就く！
第1章 市議会議員になるのは無謀な挑戦じゃない！
第2章 出馬を決意したらさっそく活動開始！
第3章 いよいよ決戦の時！選挙戦スタート！
第4章 若手議員・市長にインタビュー
選挙と議員生活の実際



【(当)タネダミキオでございます。】 [全3巻]

漫画:塚脇永久
監修協力:佐藤大吾
発行:株式会社新潮社

色々悩んでる読者の皆様(25歳以上)へ
次の選択肢は「政治家」でいいんじゃない!?
カネなし、学歴なし、コネなし。
世間と自分に苛立ちと不満ばかりを持つ青年が
成り行き上イキナリ選挙に立候補!?
この漫画を読めば、次の選挙に出たくなる。
そして自分と世界を変えたいくなる!!
ドットジェイピーは本作品に監修協力しています。



【オモシロキコトモナキ世ヲオモシロク】

プロデュース:高橋歩&佐藤大吾
監修:NPO法人ドットジェイピー
発行・発売:サンクチュアリ出版

○リアル&スピリッツ。
政治のリアルな現状を、ビジュアルと言葉で伝えます。
○未来の日本へのメッセージ。
20代、30代前半の現役バリバリで活躍している政治家
たちを紹介。
○「カネなし、コネなし、20代、地方選挙、無所属、
初挑戦」のための選挙徹底マニュアル。
○コミックガイド。
厳選したイラストと名セリフを魅せる、最強のコミック
ガイド。



メディア掲載実績一覧

従来のインターンシッププログラム、選挙に向けたイベントなど、ドットジェイピーの取り組みは、多くのメディアで取り上げて頂いております。

10月16日 北海道新聞にて

女性の政治起用についての取材が掲載

『女性0人活躍本気？改造岸田内閣の副大臣、政務官起用』

10月22日 Yahoo!ニュース・NHKウェブニュース・gooニュース・TBSのYouTube・d menuニュース・おはよう宮城・Nスタにて

宮城支部で選挙管理委員会と共に開催した出前授業の様子が掲載

『「自分の価値観から推しの議員を見つけて」大学生が制ををテーマに出前授業』

10月22日 47news・gooニュース・LINEニュース・News Collect・NTT docomo・SmartNews・宮崎日日新聞X・グノシー・

Yahoo!ニュース・プレみや・宮崎日日オンラインにて

宮崎県内の大学生のみでのインターンシップ運営開始の様子が掲載

『若年政治参画へ活動拡大 大学生NPO法人・ドットジェイピー宮崎支部』

10月23日 宮崎日日新聞・宮崎日日新聞オンライン・LINEニュースにて

支部立ち上げから宮崎支部に関わってきた、代表の江川琴実が宮崎日日新聞の「ひと」というコーナーで掲載

『大学生主体のNPO法人「ドットジェイピー」宮崎支部代表に就いた 江川琴実(えがわ・ことみ)さん』

10月26日 NHK長崎放送局にて

長崎県の大村市長選挙に向けたイベント「投票所あっちさプロジェクト」の期日前投票の活動の様子が掲載

『大学生が投票率向上に向けた取り組み 大村市長選』

10月29日 長崎新聞社・長崎新聞オンライン・Smart News・NEWS Collect・goo!ニュース・d menuニュース

Microsoft news・NEWS PICKS・47NEWS・LINEニュースにて

大村市長選挙に向けたプロモーションイベント「投票所あっちさプロジェクト」の準備の様子が掲載

『若者を投票所へ』

12月5日 北國新聞にて

金沢での議員交流イベントへの意気込み(学生選挙サポーターE7さん)の様子と、イベント告知が掲載

『学生が中高生に選挙啓発』

12月9日(土) NCC長崎文化放送・長崎文化放送Web・長崎文化放送YouTube・Yahoo!ニュースにて

長崎支部で開催した議員交流会の様子が掲載

『若者の投票率向上へ 大学生×長崎市議会議員』

12月9日 読売テレビ(ウェークアップ)にて

大阪支部のMTG風景と昨今の政治に対する支部員からの意見が掲載

12月19日 読売新聞にて

長崎支部で開催した議員交流会の様子が掲載

『市議と大学生が交流』

12月24日 宮崎日日新聞・宮崎日日オンライン・Yahoo!ニュース・47NEWS・News Picks・d menu・NTT docomo・

gooニュース・ニュースコレクト・プレみやにて

12月23日宮崎支部が、宮崎市内で開催した議員交流会の様子が掲載

『大学生と県議、市議交流、政治理解へ学生団体企画』

1月17日 読売新聞にて

12月23日宮崎市内が開催した「議員交流会」の様子が掲載

『大学生と県内議員 交流 就業大家女帝の40人、質問』

2月1日 KABにて

熊本県知事選に向けて、大学生が熊本の今後について議論の様子が掲載

『次の熊本のリーダーは？』

メディア掲載実績一覧

従来のインターンシッププログラム、選挙に向けたイベントなど、ドットジェイピーの取り組みは、多くのメディアで取り上げて頂いております。

2月17日 北海道新聞・北海道新聞オンライン・goo!ニュースにて
2月16日に北海道支部が開催した「模擬議会」についての取材が掲載
『雪の活用策 議論し発表 札幌 NPOが学生模擬議会』

2月23日 RKKにて
熊本県知事選に立候補している、元副知事の木村敬氏と議論する様子が掲載
『どうする知事選2024』

2月26日 UMKテレビ宮崎・MRT宮崎放送・Yahoo!ニュース・Smart News・FNNプライムオンライン・NEWS digest・グノシー・ニュースパス・UMKオンライン・X・News Dig・MRTオンラインにて
宮崎支部で開催した「ハーフタイムイベント」の様子が掲載
『若者の意見を政策に…政治参加を！大学生による選挙イベント』
『若者の投票率アップへ 宮崎県内の大学生が本番さながらの「模擬投票」』

3月9日 中国新聞・中国新聞デジタルにて
広島第2支部が、3月4日に開催した「模擬選挙」の様子が掲載
『三原で模擬市長選挙 学生目線で理想のまち提案』
『大学生の「候補3人」まちづくり訴え 三原で模擬市長選挙』

3月9日 熊本日日新聞・熊本日日新聞オンラインにて
熊本エリアで行われた「未来自治体全国大会2024 熊本大会決勝」の様子が掲載
『「30年後の熊本」学生が政策競う』

3月10日 山形新聞と読売新聞にて
山形県の大学生による「未来自治体地方決勝大会山形大会」の様子が掲載
『理想の地域へ政策提案 大学生が参加、「未来自治体」山形地区大会』
『30年後の未来へ 大学生政策提案』

3月10日 Smart News・FNNプライムオンライン・gooニュース・Yahoo!ニュース・KTS鹿児島テレビ・MBC南日本放送にて
未来自治体の様子や、大学生が選挙啓発を行う姿が掲載
『「貴重な経験になった」鹿児島県の大学生が地域課題の解決へ政策を発表』
『鹿児島市議選まであと1カ月 大学生がビラ配り』

3月11日 北海道新聞・北海道新聞オンライン・gooニュース・orionニュース・47ニュース・ニュースコレクト・d menuニュース・au webポータルニュース・Yamato soul・exciteニュースにて
未来自治体全国大会2024北海道大会についての取材が掲載されました
『「住みたい街」大学生が提言 北海学園大がV「未来自治体」札幌で道大会決勝』

3月11日 NHK・テレビ岩手・福島民報にて
東日本大震災を知り未来を考えるイベントの様子が掲載
『本県大学生ら20人 未来への行動検討 富岡でイベント』

3月18日 NHK・NHKオンラインにて
熊本県知事選を前に、大学生の投票に対する考え方、若者が投票に行きにくいと感じる理由を考える様子が掲載
熊本県知事選2024『大学生と考える若者と選挙』

3月22日 毎日新聞・毎日新聞オンラインにて
北九州支部で開催した「未来自治体全国大会2024 北九州大会」の様子が掲載
『30年後の理想社会 大学生が政策提案』

ご協賛企業一覧

【熊本エリア】

株式会社寺原自動車学校
株式会社きらり.コーポレーション(よかボス倶楽部推進センター)
医療法人杉村会 杉村病院
PITAグループホールディングス株式会社
株式会社MARUKU
株式会社古荘本店
株式会社熊本日日新聞社
株式会社TaKuRoo
株式会社Lib Work

【全社】

株式会社 就活のお父さん
株式会社 ビーウェル
株式会社BeyondCafe
株式会社 ヒュープロ

ご支援ご協力に心より感謝申し上げます。



若者と政治を結ぶ
NPO法人ドットジェイピー

URL:<http://www.dot-jp.or.jp>